

声

この日、ここを訪れた皆さんにバルーンフェスティバルの感想を直撃インタビューしました。一部を紹介します。



バーナーの炎に照らされ、熱気球が夕闇の中に浮かび上がるバルーンイリュージョンは、息をのむ美しさ



大人気の係留体験フライト

地の利生かし大空舞う熱気球 瀬戸内バルーンフェスティバル

地元のイベントなので、少しでもお手伝いができたらと思って参加しました。皆さんの誘導や係留体験フライトの補助がわたしたちの仕事でした。大勢の人が来てくれるのがうれしいです。



國塩ともみさん・山口幸恵さん
(17歳・邑久町下山田) (17歳・日生町)



写邑クラブ会長
古武須彌雄さん
(72歳・邑久町本庄)

中・四国で随一のバルーン大会。写真好きの人にとって、吉井川に映る美しいバルーンを昼と夜撮影できる魅力あるイベントと言えます。大阪や京都、高知などから、ツアーバスを仕立てて大勢の皆さんが訪れていました。色彩豊かなバルーンが大空を飛ぶと夢があり、子どもにとっても良いですよ。もっと市民で盛り上げると良いと思いますね。



競技フライトに向け出発！



美しいバルーンは、写真好きの皆さんにとっても魅力的



初めて来ました。係留体験フライトを楽しみました。天気も眺めも良く、気持ち良かったです。

相羽貴子さん・洗希君・湧斗君親子
(倉敷市40歳) (11歳) (8歳)



立命館大学BCダンデライオン

椎葉誠治さん(21歳・大阪府) =写真右=
これまでに、北海道、滋賀、佐賀などの大会に参加しました。ここは気球数も多く、気球を上げる側としてはやりがいがあります。

関根良太さん(20歳・滋賀県) =写真左=
初めての参加です。普段見ることのない田園風景が新鮮で、かなり気持ち良いです。

瀬戸内海と肥沃な千町平野、一級河川の吉井川もあり、豊かな自然に恵まれた邑久。「瀬戸内バルーンフェスティバル」は、吉井川河川敷と広大な千町平野という地の利を生かした、中・四国随一の熱気球イベントです。11月20・21日の2日間、吉井川河川敷で開催され、全国から集まった31基の熱気球が瀬戸内の空に浮かび、訪れた皆さん約2万人を魅了しました。

競技フライトは、地面に設けたターゲット目掛け、熱気球からマーカーを投下し、得点を競います。31基の熱気球が次々に大空に浮かび上がり、目的地点に向けて出発。色彩豊かな熱気球が大空を舞うさまは、優雅そのものです。訪れた皆さんは、熱気球を目で追い、カメラに収めていました。

ハートフルデイでは、市内や近隣市町村の障害者の皆さんを招待し、熱気球交流。係留体験フライトは、家族連れに人気。会場には長蛇の列ができ、地上約30mの熱気球係留体験を楽しみました。バーナーの炎に照らされ、

夕闇の中熱気球がライトアップされるバルーンイリュージョンは、幻想的で息をのむほどの美しさ。その瞬間をカメラに収めようと、始まる1時間以上も前から、対岸や道路沿いに大勢のカメラマンが三脚を構えました。

夫婦でバルーンイリュージョンを楽しもうとライトアップの時を待っていた岡山市の女性は、「瀬戸内市になったことだし、このようなイベントは良いPRになると思います」と話しました。

写真好きな仲間20人で高松市からバスを仕立てて参加したという女性は、「昨年初めて来て、イリュージョンに感激しました。美しい川の側でこのようなイベントをするのは、素晴らしいと思います」と、熱気球を見つめて言いました。

地元の子どもたちがかく絵にも、時々登場するという熱気球。「熱気球は、子どもばかりでなく大人にも、夢や希望を与えてくれますよね」。そんな声を、あちらこちらで耳にしました。